

ヘルスマーター

心房細動

心房細動とは心臓の不整脈の一種で、臨床でも遭遇する頻度の高い不整脈です。心房が不規則に1分間に400～600回の頻度で収縮し、脈自体もバラバラで不規則な脈となります。少し動いただけで脈拍が増えやすく、動悸や息切れ等の症状が出やすくなります。また、心臓のポンプ機能自体が正常脈の時に對して7～8割に低下するため心不全等にもなりやすい状態となります。

しかし一番怖いのは、心房の中に血栓という血の塊ができやすくなり、これが剥がれて血流に乗って脳の血管まで到達して血管に詰まってしまって、のうそくせんしやう脳塞栓症という重大な病気を引き起こしてしまうことです。

心房細動は高齢になる程発症頻度が上がり、高齢化社会の我が国においては心房細動患者さんの数は増えています。

心房細動の治療としては薬物で心房細動自体を止める治療と血栓等の予防をする抗凝固療法を組み合わせる薬物療法と、心臓カテーテルを用いて心房細動の原因となっている部位を電氣的に焼灼するカテーテルアブレーション治療があります。

年齢や症状の程度、罹患期間等の色々な条件を考慮して治療法を選ぶこととなります。